

特定非営利活動法人

国境なき医師団日本

〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 早稲田SIAビル3階

Tel: 03-5286-6123 (代表) Fax: 03-5286-6124

E-mail: office@tokyo.msf.org

www.msf.or.jp

活動 報告書

2011年 1月 → 12月

特定非営利活動法人

国境なき医師団日本

Activity Report 2011

January-December 2011

Médecins Sans Frontières Japan





ケニア

北部ダダーブの難民キャンプに2011年に到着したソマリア人の数は15万人以上。MSFは栄養失調や劣悪な環境によるはしかの流行などに対応するが、10月にスタッフ2人の拉致事件が発生する。



ソマリアから到着するも飽和状態の難民キャンプに入れず、木の枝とありあわせの布で小屋を建てる女性。
© Brendan Bannon

表紙：地震と津波で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町の病院。(2011年5月撮影)
© Eddy McCall / MSF

裏表紙：岩手県宮古市田老の仮設住宅で、被災者の生活は続いている。(2011年12月撮影)
© Giulio Di Sturco / VII mentor

国境なき医師団とは

医療援助を第一に

国境なき医師団(MSF)は、非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体です。危機に瀕した人びとへの緊急医療援助を主な目的とし、医師、看護師をはじめとするスタッフが、世界約60カ国で援助活動を行っています。1971年にフランスで設立されました。

独立・中立・公平

MSFはだれからも干渉や制限を受けることなく、助けを必要としている人びとのもとへ向かい、人種や政治、宗教に関わらず、分けへだてなく援助を届けます。

世論に訴える

援助活動の現場では、虐殺や強制移住など激しい人権侵害を目の当たりにすることもあります。MSFはそのようなとき、医療だけでは人びとの命を救うことができない現状を国際社会に証言します。

Contents

国境なき医師団憲章 / 10の原則 The Charter of MSF / 10 Principles of MSF	4
MSF日本 2011	6
会長・事務局長からの挨拶 Message from the President & the General Director	8
派遣実績 Field Staff Sent by MSF Japan	10
派遣地からの声 Voice from the Field	12
資金援助対象国 Countries Funded by MSF Japan	14
援助国からの声 Voices from the Field	16
財務ハイライト Financial Highlights	18
財務報告 Financial Report	20
MSFワールドワイド 2010	33
活動地とネットワーク MSF Activity Map & Network	34
数字で見るMSFの活動 MSF Facts & Figures	36
謝辞 Acknowledgements	38

国境なき医師団憲章

The Charter of MSF

国境なき医師団は
苦境にある人びと、天災、人災、武力紛争の被災者に対し
人種、宗教、信条、政治的な関わりを超えて
差別することなく援助を提供する。

国境なき医師団は
普遍的な「医の倫理」と人道援助の名のもとに
中立性と不偏性を遵守し、完全かつ妨げられることのない
自由をもって任務を遂行する。

国境なき医師団のボランティアは
その職業倫理を尊び
すべての政治的、経済的、宗教的権力から
完全な独立性を保つ。

国境なき医師団のボランティアは
その任務の危険を認識し
国境なき医師団が提供できる以外には
自らに対していかなる補償も求めない。

Médecins Sans Frontières provides assistance to populations
in distress, to victims of natural or man-made disasters and
to victims of armed conflict. They do so irrespective of race,
religion, creed or political convictions.

Médecins Sans Frontières observes neutrality and impartiality
in the name of universal medical ethics and the right
to humanitarian assistance and claims full and unhindered freedom
in the exercise of its functions.

Members undertake to respect their professional code of ethics
and to maintain complete independence from all political,
economic or religious powers.

As volunteers, members understand the risks and dangers of
the missions they carry out and make no claim for themselves or
their assigns for any form of compensation other than that
which the association might be able to afford them.

10の原則

10 Principles of MSF

- | | |
|---|--|
| 1. 第一に医療援助活動
Medical Action First | 6. 公平性
A Founding Principle: Impartiality |
| 2. 証言活動
Temoignage (Witnessing):
An Integral Complement | 7. 中立性の精神
A Spirit of Neutrality |
| 3. 医療倫理の遵守
Respect for Medical Ethics | 8. 義務と透明性
Accountability and Transparency |
| 4. 人権の擁護
Defense of Human Rights | 9. 自発的に参加する
現地活動スタッフからなる組織
An Organization of Volunteers |
| 5. 独立性への配慮
Concern for Independence | 10. 同じ目的の下に集ったメンバーが
運営する非営利の組織
Operating as an Association |



リビア

2011年2月頃から旧カダフィ政権に反発する勢力と政府軍の間で激しい戦闘が発生した。MSFは負傷者の外科治療など不足する医療を支援。心理ケアや、迫害を受けた外国人労働者への援助も行う。



4月、空爆にさらされる西部の都市ミスラタから隣国チュニジアに負傷者を海路搬送。船内でも治療は続いた。

© Tristan Pfund / MSF

MSF日本

**2011年の
活動実績と財務****南スーダン**

20年以上続いた南北内戦を経て、2011年7月にスーダンから分離独立を果たしたが、国民は極度の貧困と医療不足の状態におかれ、MSFは各地で続く人びとの危機に対応する援助活動を続けている。



2011年7月の独立後も紛争が絶えない南スーダン。6月、南北の戦間が激化したアビエイ暫定統治地域から、数日歩いて避難した家族が木陰で休む。

© Gaël Turine / VU

新たな危機に立ち向かった2011年。 厳しい国内状況の中、変わらぬご支援に感謝申し上げます。

2011年は、国境なき医師団(MSF)にとって創立40周年という記念すべき年。私たちの歴史やこれまでに直面してきた課題を振り返り、人道援助を取り巻く環境の変化について考える、貴重な機会ともなりました。

3月11日に起きた大震災は東日本に甚大な被害をもたらし、国内外が大きな衝撃を受けました。MSFはただちに被災地にチームを送り、主に宮城県南三陸町と岩手県宮古市で医療と心理ケア、物資を提供。計4844件の診療、仮設田老診療所の建設支援を行いました。MSF事務局所在国ではかつてない規模の活動です。MSFは通常、十分な技術、人材、財政上の対応能力のある先進国では活動しません。しかし被災の規模から、ほかの救援で対応しきれないニーズがあることは明白だったため、MSFの原則に従い、援助が届かない地域を探し、火急のニーズに絞って小規模な活動を行いました。

2011年は、世界のほかの地域でも大きな課題に直面しました。1991年から活動するソマリアでは、干ばつ、無政府状態、破綻した医療制度、国際援助への制限といった複合的な要因のため、情勢の悪化した故郷から人びとが追いやられました。MSFは栄養治療や、はしかの予防接種の強化に努め、モガディシオの2つの病院で外科手術を続けました。しかし、膨大な医療ニーズにもかかわらず、治安の著しい悪化が援助を阻んでいます。10月に難民キャンプでスタッフ2人が拉致され、年末にはソマリアで活動するチームの2人が銃撃で殺害される事件が起き、活動の一部撤退を余儀なくされました。

7月には南スーダンがアフリカ54番めの国として独立しましたが、南北内戦の影響で医療は欠乏しており、MSFは診療や栄養治療の活動を強化して対応に努めています。また、リビア、イエメン、バーレーンなど、反政府運動から情勢が悪化した国々でも緊急手術や心理ケアなどの活動を行いました。大地震から2年を経たハイチでは、50万人が家を失ったままです。MSFは同国のコレラの流行にも対応して約16万人を治療、首都ポルトープランスで3つの病院の運営を続けました。

2011年には約53億円の寄付がMSF日本に寄せられ、皆様のご支援が世界での活動を可能にしています。国内の人道問題に対する関心の高まりを、新しい寄付金控除制度が支えることも期待されます。そして2012年は、MSF日本の創立20周年。私たちは2011年、のべ122回スタッフを派遣、規模の大きい事務局に成長しました。2012年も世界の医療課題に全力で取り組みます。日頃のご理解とご支援に深謝するとともに、今後もお力添えのほど、謹んでお願い申し上げます。



国境なき医師団日本
事務局長
(2005年10月～)
エリック・ウアネス
Eric Ouannes
General Director
Médecins Sans Frontières Japan
(October 2005 -)



国境なき医師団日本
会長
(2010年3月～)
黒崎 伸子
Nobuko Kurosaki MD
President
Médecins Sans Frontières Japan
(March 2010 -)



© Anna Surinyach / MSF
インド・ビハール州で、MSFは「顧みられない病気」、カラアザールの診断・治療を行う。



© Robin Hammond / Panos
武装勢力に拉致された経験に苦しみ、心理ケアを受けるコンゴ民主共和国の少女。



© Marcell Nimfuehr / MSF
南北スーダンの係争地アビエで、栄養治療を受ける子ども。



© Chris de Bode / Panos Pictures
コートジボワールの内乱に緊急対応。隣国リベリアに逃れた難民にも医療を提供。

2011 marked another challenging year with several medical emergencies.

Thank you for your continuous understanding and support despite a very harsh year in Japan.

2011 marked the 40 years since the foundation of MSF, and this anniversary offered a unique moment to reflect on our history, the challenges we faced and the changing humanitarian environment.

For those in Japan, the East Japan Earthquake and Tsunami shook the entire population and reverberated throughout the rest of the year. Right after the earthquake, MSF deployed the first teams to the devastated region. We provided medical assistance and logistics support in Minami Sanriku and Taro. In total, we provided medical consultations for 4,844 people and supported the construction of a temporary clinic in Taro. The Tohoku intervention was one of the first MSF operations of that scale in a developed country where an MSF office is located. MSF does not usually intervene in developed settings, especially where the state has expertise, human and financial means. The scope of the disaster convinced us that medical and psychological needs would remain despite the deployment of massive relief operations by national actors. In accordance with MSF principles, we undertook a small scale intervention focusing on areas not covered by the other actors. We deliberately decided to limit our intervention to the most pressing needs.

MSF encountered significant challenges in other parts of the world. In Somalia, where MSF has worked since 1991, a combination of factors including drought, a non-functioning state, a lack of healthcare and limited international aid, forced people away from unstable areas. MSF reinforced its malnutrition programs, improved measles vaccination coverage and continued to perform surgery in 2 hospitals in Mogadishu. Despite the immense medical needs, the high level of insecurity limited our access to patients. Our teams had to evacuate the country due to two critical security incidents. Two MSF staff were kidnapped in October 2011 and two others died in a shooting.

In July 2011, South Sudan became the 54th country in Africa. The consequences of years of north-south conflict have limited the population's ability to access medical facilities. MSF strived to respond by reinforcing its programs, both medical and nutritional.

MSF also responded to emerging medical needs in unstable countries such as Libya, Yemen and Bahrain following civil unrest. We engaged in emergency surgical and psychological programs in Misrata, Tripoli as well as other cities. In Haiti 500,000 people remain displaced. MSF treated 160,000 patients for cholera and continued to run 3 hospitals in Port-au-Prince.

We received approximately 5.3 billion yen of donations in 2011 and this increasing support has enabled our teams to be active across the world. We believe this reflects a rising interest in Japanese civil society for humanitarian issues. This trend will be supported by the new NPO tax deduction law introduced in 2011.

2012 marks the 20th anniversary of MSF Japan. MSF Japan dispatched aid workers 122 times in 2011 and we have become one of the largest offices in the MSF network. With your renewed understanding and support, we are committed to responding to the medical challenges ahead of us this year.

MSF日本から派遣された89人が24の国・地域で援助活動を行いました

2011年、国境なき医師団(MSF)日本からは計89人のスタッフが、のべ122回、
24の国・地域に派遣され、援助活動を行いました。

※ リストは2011年に現地で活動を開始した人が対象。

■ 日本からスタッフが派遣された国・地域
■ その他のMSFの活動国・地域



難民キャンプ内の診療所で医療提供
[ケニア/看護師]



内戦の影響を受けたミスラタの病院を支援
[リビア/看護師]



ハイチ

菅村 洋治(外科医)

中央アフリカ共和国

辻坂 文子(アドミニストレーター)

コートジボワール

神田 紀子(薬剤師)

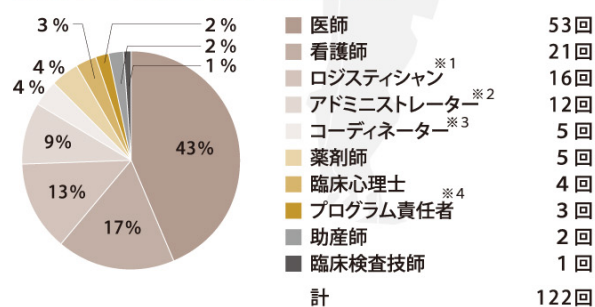


紛争地域での外傷治療
[イエメン/外科医]



アウェイル市民病院で入院・外来部門支援
[南スーダン/内科医]

MSF日本 派遣回数 職種別割合



MSF日本 派遣者出身地 (都道府県)

東京 9人	京都 3人	富山 1人	岡山 1人
愛知 9人	千葉 2人	福井 1人	広島 1人
埼玉 5人	兵庫 2人	岐阜 1人	徳島 1人
神奈川 5人	福岡 2人	三重 1人	大分 1人
長崎 4人	秋田 1人	奈良 1人	宮崎 1人
北海道 3人	茨城 1人	鳥取 1人	海外/その他 27人
岩手 3人	群馬 1人	島根 1人	計 89人

※1 物資調達、施設・機材・車両管理等、状況に応じて医療・財務・人事以外の業務全般を担当。
※2 現地活動の財務・会計・人事管理を担当。
※3 主に首都を拠点に、専門分野の国内複数プログラムを統括。
※4 現地プログラムの運営管理責任者。医療系と非医療系、いずれのスタッフが就くこともある。

グルジア

平井 亜由子(内科医)

アルメニア

チフン・バン(内科医)
サンフン・ジョン(内科医)

イラク

吉田 ゆかり(看護師)

レバノン

木村 陽子(アドミニストレーター)

パレスチナ

森岡 大地(形成外科医)※同国2回

イエメン

名和 正行(麻酔科医)
日並 淳介(外科医)
安藤 恒平(外科医)
幣原 園子(内科医)
井田 覚(プログラム責任者)
萩原 健(プログラム責任者)
松本 卓朗(ロジスティシャン)
チャンプン・シン(アドミニストレーター)
アジン・キム(アドミニストレーター)※同国2回
根本 常子(看護師)

エチオピア

ナヨン・キム(内科医)
森山 秀徳(内科医)
田中 直実(プログラム責任者)
森川 光世(アドミニストレーター)
沢田 さやか(ロジスティシャン)
大波 和美(臨床検査技師)
大野 充(看護師)
京寛 美智子(看護師)
上平 明美(看護師)

ソマリア

森田 光義(内科医)
チャンプン・シン(アドミニストレーター)

ケニア

森田 光義(医療コーディネーター)
林 晋太郎(内科医)
小林 さより(小児科医)
熊澤 ゆり(アドミニストレーター)
川嶋 佳子(看護師)

マラウイ

神田 紀子(薬剤師)
チョンユン・チェ(薬剤師)



仮設住宅建設支援
[日本/ロジスティシャン]



被災者の移動診療
[日本/内科医]

パキスタン

岡本 文宏(内科医)
久留宮 隆(外科医)
初雁 育介(麻酔科医)
菅原 美紗(内科医)
渥美 智晶(外科医)
竹中 裕(産婦人科医)
高橋 央(助産師)
白川 優子(看護師)

インド

田岡 知明(看護師)
田岡 佳子(看護師)

スリランカ

幣原 園子(ER[救急医])
小口 隼人(ロジスティック・コーディネーター)
沢田 さやか(ロジスティシャン)
水野 阿弓(看護師)

日本(東日本大震災)

黒崎 伸子(外科医)
岡本 文宏(内科医)
鈴木 基(内科医)
鉄谷 耕平(内科医)
青池 望(内科医)
加藤 寛幸(小児科医)
京極 敬典(内科医)
久留宮 隆(外科医)
小久保 亜早子(整形外科医)
目原 久美(ER[救急医])
菅村 洋治(外科医)
石塚 由実子(内科医)
山本 嘉昭(産婦人科医)
安達 淳治(ER[救急医])

鈴木 徹郎(内科医)
中川 嘉隆(内科医)
林 晋太郎(ER[救急医])
田辺 康(医療アドバイザー)
小林 さより(内科医)
藤 明里(精神科医)
船越 久(ロジスティシャン)
井田 覚(ロジスティシャン)
落合 厚彦(ロジスティシャン)
小野 不二雄(ロジスティシャン)
沢田 さやか(ロジスティシャン)
川邊 洋三(ロジスティシャン)
松本 卓朗(ロジスティシャン)
北河 恵美子(アドミニストレーター)

セルジオ・ディダト(ロジスティシャン)
アジン・キム(アドミニストレーター)
辻坂 文子(アドミニストレーター)
道津 美岐子(看護師)
京寛 美智子(看護師)
蛭田 寛子(看護師)
河野 暁子(臨床心理士)
吉田 貴康(薬剤師)
ヘヨン・リ(臨床心理士)
根本 律子(看護師)
八木 千枝(看護師)
西前 律子(臨床心理士)
後藤 啓介(臨床心理士)



情勢不安地域で産科ケアを提供
[パキスタン/助産師]



紛争後の地域で救急医療支援
[スリランカ/ER(救急医)]

海外派遣スタッフを募集しています。

MSF日本では、世界各地で活動を行う医療従事者(医師、看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、臨床心理士)およびロジスティシャン、アドミニストレーターなどを常時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

E-mail: recruit@tokyo.msf.org
www.msf.or.jp/work

震災は私自身の 問題でもありました

宮城県仙台市在住の内科医、林晋太郎医師は、東日本大震災の発生時はケニアでMSFの活動に参加していました。地元の被災を知って急きょ帰国し、3月18日から4月23日まで南三陸町で医療援助にあたった林医師が、被災地の状況や自らの思いについて活動直後に語った声をお届けします。

林 晋太郎 (ER[救急医]／東日本大震災)

最初に地震のニュースを聞いたときは、それほど深刻とは思わず、翌日になって被害の甚大さを知りました。まず仙台市内にいる妻を心配しましたが、間もなく連絡を取ることができました。ケニアにいた私の周囲の人びとは、どのような災害か想像できないようでしたが、私にとっては自分自身の問題であり、家族にかかわる問題でした。

しばらくすると、多くの友人が被災地で働いているのを知り、私も彼らに加わりたいと思うようになりました。ケニアのMSFチームは皆とても協力的でした。チームに相談すると、多くのメンバーが「帰れるよ。MSFも君の緊急帰国をきっとサポートするよ」と言ってくれました。

帰国して参加したMSFのチームは南三陸町で移動診療を

行っており、私は4つの避難所で活動しました。主な仕事は、慢性疾患の患者さんへのフォローです。重症患者はあまりおらず、薬や処方箋をなくした人がほとんどだったので、処方箋を書き、心理的支援も少し行いました。高齢者が多いため、大半は高血圧や糖尿病といった慢性疾患とかがぜでした。

多くの被災者は笑顔を見せて、よく話をしますが、苦境を乗り越えようと、懸命に努めてそうしているのだと思いました。時間が経ってから落ち込んだり、将来に不安を感じるようになり、心理的支援のニーズが高まっていくのではないのでしょうか。

ある年配の女性は、寝たきりで自宅で暮らし、お嫁さんが一人で介護していました。電気も水もガスもなくなり、私が訪問したときには家の中はひどい寒さでした。家には介護に必要な医療機器も物資もなかったため、助けになればと医療機器を提供しました。女性には床ずれができていたので、

その処置も行いました。

私たちが活動した避難所は小さなコミュニティとなっていて、人びとの間には強い絆がありました。お風呂場を作ったり、家屋のがれきを片付けたりと、作業を分担して常に働いていました。心の健康のためにも、よいことだと思います。その一方で、大きな避難所でただ寝て過ごす人も多く見かけ、このような被災者には心理的支援がもっと必要だと思いました。

東北地方はもともと医師の数はあまり多くありませんでしたから、現地の大きな医療ニーズはしばらく残るのではないのでしょうか。私はこのあとも地域の復興にかかわり、医療の提供を続けたいと思っています。

MSFの東日本大震災緊急援助の活動概要については、p.32の報告をご参照ください。

東日本大震災

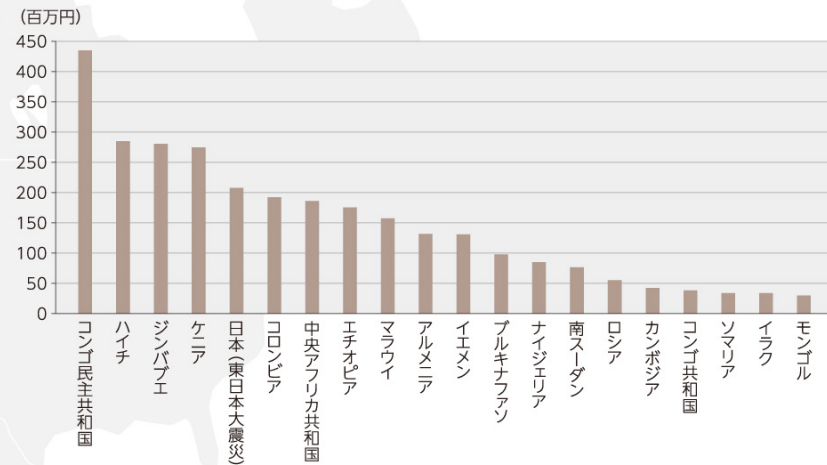
2011年3月11日に発生した大地震とそれに伴う津波が、東北地方を中心に甚大な被害をもたらした。MSFは震災翌日から現地に入り、医療、心理ケアや救援物資を提供。仮設の住宅や診療所の建設も支援した。



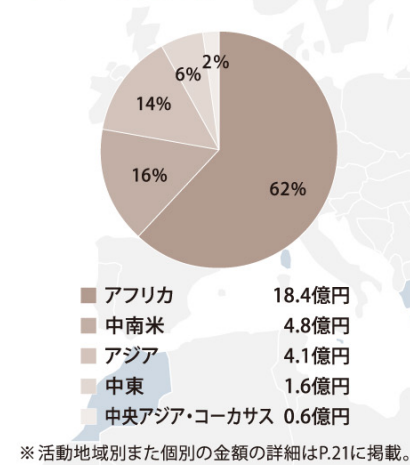
MSF日本から、20の国での活動に資金援助を行いました

2011年、国境なき医師団(MSF)日本に寄せられた資金は、紛争や貧困により危機にさらされた人びとに医療・人道援助を届けるため、プログラムを運営するオペレーション事務局を通じて、20の国での活動にあてられました。

MSF日本による国別援助実績



活動地域別実績および割合



イエメン

主なプログラム内容：国内の武力衝突による負傷者への外科治療、救急搬送、現地医療機関への医療物資提供



カンボジア

主なプログラム内容：HIV/エイズや薬剤耐性結核の検査・治療、刑務所における基礎医療とHIV・結核検査の提供

■ 日本から活動資金の送られた国
■ その他のMSFの活動国・地域

南スーダン

主なプログラム内容：母子保健、栄養治療、感染症対策等の医療提供、スーダンからの帰還民・難民の援助



© Corentin Fohlen / Fedephot

コンゴ民主共和国

主なプログラム内容：はしか等の感染症対策、栄養治療、基礎的な医療、武力紛争による国内避難民・負傷者の診療



© MSF

ジンバブエ

主なプログラム内容：HIV/エイズや結核等の感染症対策



© Juan-Carlos Tomasi

エチオピア

主なプログラム内容：難民キャンプで、栄養治療等の医療を提供



© Lali Camba

かつてない危機に陥った ソマリアに援助を届ける

長年の内戦で疲弊したソマリアを襲った
2011年の干ばつは、栄養失調や感染症により
多くの命をさらなる危機に追い込みました。
武装勢力が国際援助の介入を阻む中、
首都モガディシオに入ったスタッフ2人が
現地の危機的状況を伝えた7月の報告を
ご紹介します。

デビッド・ミチャルスキー(緊急対応コーディネーター)
サイード・イブラヒム・ハッサン(医療オフィサー)

ミチャルスキー:7月末にモガディシオに着いてすぐ、避難民
キャンプの調査を始めました。数世帯から数百世帯が集まる
ものまで、キャンプは至る所にありました。

ハッサン:通りを1本歩くだけで小屋が密集するキャンプを30
〜40カ所も目にします。避難民が自ら建てた小屋の間は歩く
隙もないほどです。トイレはないところがほとんどです。食
べ物も寝具もないため、物乞いをする人が多くいると聞きま
した。どこのキャンプでも、重い病気で、ただ地べたに横
になっている人を見かけました。大勢の人びとが首都にきた
のは、干ばつのため家畜が死んで生活が成り立たなくなった
ためです。

ミチャルスキー:すぐにMSFが取り組むべき3つの優先課題が
明らかになりました。はしかの患者が多かったので、治療と
予防接種を、救援物資の配布と並行して開始しました。重
度の栄養失調の子どもも多く、栄養治療センターを開設。
また、コレラ検査で陽性反応が多くみられ、急性水様性下
痢と脱水症状の人が多数いることから、コレラ治療センター
(CTC)を設置して対応しています。

ハッサン:キャンプに住む人びとは口をそろえて、食糧、住ま
い、医療が必要だと言います。モガディシオには病院もかな
りありますが、無償ではありません。一方、避難民の大半は
お金がありません。ある女性は、病気になって14日経つが、
お金がないので病院には行けない、と話しました。

ミチャルスキー:状況を見てすぐに必要な物資を輸送しまし
た。ケニアのナイロビにある拠点から取り寄せたほか、ベル

ギーにある物流センターも2機の輸送機を飛ばしてくれまし
た。しかし、モガディシオの危機の全容を把握することは困
難です。治安が悪く、移動は制限されているからです。

現地の状況はかなり悪く、当分よくなりません。20
年前から援助を妨げている極度に不安定な治安も、非常に
憂慮すべきものです。危機に瀕した人びとが確実に助けを得
られるように、活動続ける必要があります。



デビッド・ミチャルスキー



サイード・イブラヒム・ハッサン



ソマリア

20年間続く無政府状態による人道的危機に、2011年は干ばつが拍車をかけた。MSFは緊急援助活動を展開し、ソマリア国内と周辺国の難民キャンプで、計45万人に医療を提供した。



モガディシオの避難民キャンプで栄養治療を受けるわが子に付き添う母親。

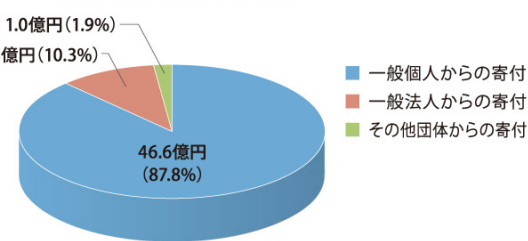
© Eymeric Laurent-Gascoine / MSF

1999年の特定非営利活動法人(NPO法人)設立から13年、皆様からの厚いご支援に支えられ、国境なき医師団日本(以下、MSF日本)は年々法人として成長を遂げてまいりました(下段の棒グラフで参照)。ユーロ危機に端を発した、昨今の世界的な経済低迷の最中でも、MSFの医療・人道援助活動が留まることはありません。2011年度も、巨大地震や津波、洪水等の相次ぐ自然災害が猛威を振るった1年でありました。ここに1年間のMSF日本の財務状況を総括いたします。

1. 寄付収入は総額53.1億円

皆様からの絶大なるご支援、ご厚意により、2011年度のMSF日本の寄付収入は前年度比で14.6%増加し、53.1億円となりました。

寄付収入(53.1億円)の内訳



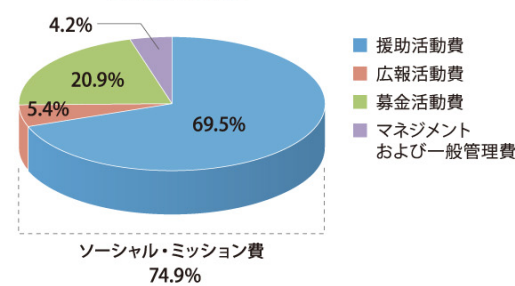
一般個人支援者数 190,626人
一般法人支援社数 7,926社
その他支援団体数 2,214団体
のべ支援者総数 200,766

支援者総数は、前年比で2.9%増加しました。寄付金以外にも、現物および役務・サービスのご提供という形での支援も数多くいただきました。

2. 援助活動に係る支出は総額49.4億円

MSF日本は2011年度予算に基づき、人道援助プログラムへのサポートを強化しつつ、総額49.4億円を右記の各活動に充当しました。経常費用は前年同期比で1.4%増加しました。2011年度の最終収支は3.7億円の余剰となりました。

援助活動に係る経常費用
49.4億円の内訳



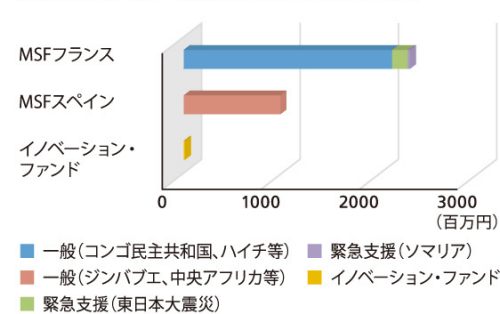
(百万円)	
① 援助活動費	3,433
・人道援助プログラム支援金	3,288
・国内外でのプログラム・サポート	145
② 広報活動費	266
③ ソーシャル・ミッション費計(①+②)	3,699
④ 募金活動費	1,032
⑤ マネジメントおよび一般管理費	208
援助活動に係る経常費用合計(③+④+⑤)	4,940

※詳細は、P.24~31に掲載の「主要財務諸表」をご覧ください。

3. 人道援助プログラム支援金は総額32.9億円

MSFではオペレーション5事務局が人道援助プログラムを運営しています。MSF日本は2011年度において、パートナーシップ協定を結ぶMSFフランスおよびMSFスペインが各地にて運営する、東日本やソマリアでの緊急援助活動を含めた、各種の人道援助プログラムに対して総額32.9億円の支援金を送りました。

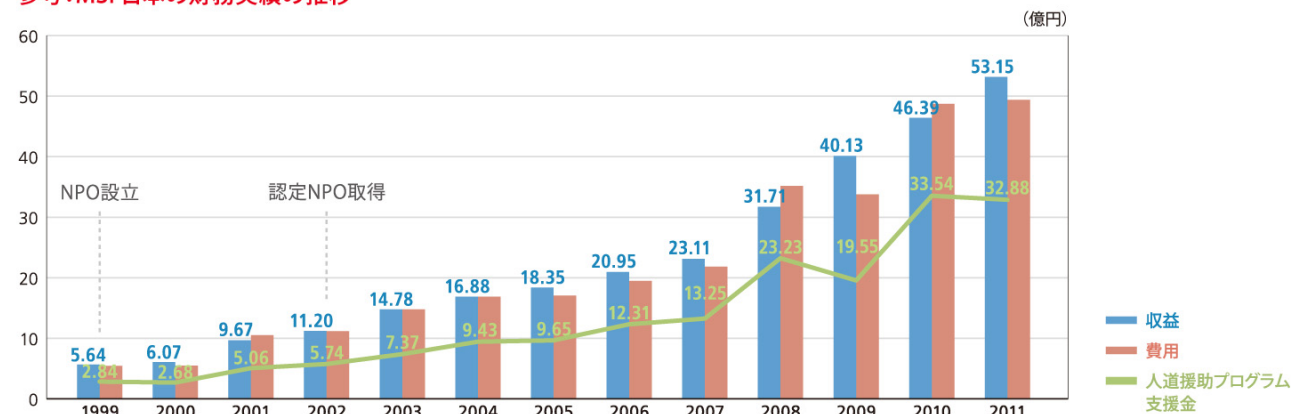
人道援助プログラム支援金32.9億円の内訳



(百万円)	
MSFフランス	2,298
※緊急支援を含む。	
MSFスペイン	980
イノベーション・ファンド	10

※2011年度の支援金の国別配分の詳細については、P.21をご参照ください。

参考: MSF日本の財務実績の推移

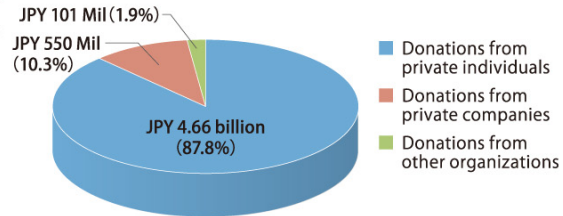


Thanks to continuous support by donors, Médecins Sans Frontières Japon (MSFJ) has grown constantly since 1999 when it was established as an NPO. (See the bar graph below.) Despite the worldwide economic slowdown precipitated by the Euro Crisis, MSFJ has been able to continue its humanitarian operations. Looking back over 2011, in addition to the economic downturn, we have experienced several natural disasters such as an earthquake and a tsunami. Please find below the financial activities of MSFJ throughout 2011.

1. Donations reached JPY 5.31 billion

Thanks to your continuous support, MSFJ received JPY 5.31 billion in donations in 2011, a 14.6% increase over 2010.

Breakdown of donations of JPY 5.31 billion



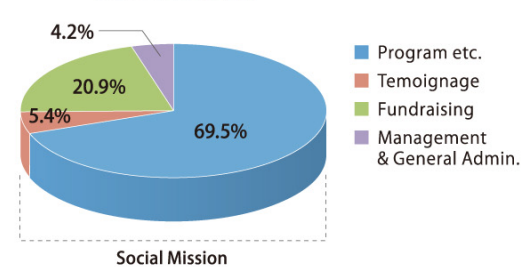
Private individuals 190,626
Private companies 7,926
Other organizations 2,214
Total number of donors 200,766

Donations from private individuals increased by 2.9%. MSFJ also received in-kind donations from many supporters.

2. Total operating expenditures were JPY 4.94 billion

MSFJ allocated JPY 4.94 billion to the following activities, enhancing the support for humanitarian aid programs. Expenditures increased by 1.4% over the 2010 fiscal year. We posted a surplus of JPY 376 million at the end of year 2011.

Breakdown of total expenditures of JPY 4.94 billion



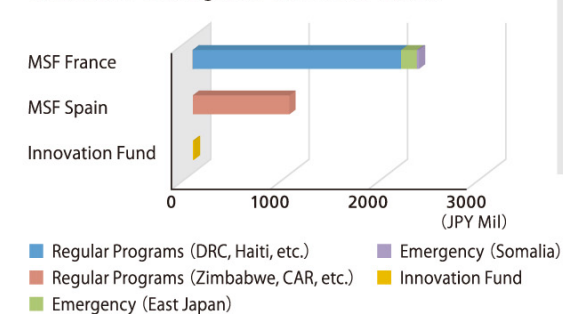
(JPY Mil)	
① Program & program support	3,433
・Program (Grants)	3,288
・HQ program support etc.	145
② Temoignage	266
③ Social Mission (①+②)	3,699
④ Fundraising	1,032
⑤ Management & General Admin.	208
Total (③+④+⑤)	4,940

*See Financial Statements (P.24-P.31) for further details.

3. MSFJ allocated JPY 3.29 billion to the grants to the field

MSF has five operational centers which operate programs in the field. MSFJ has partnership agreements with MSF France and MSF Spain, under whose agreements MSFJ sent grants amounting to JPY 3.29 billion to humanitarian aid programs including emergency assistance for East Japan and Somalia.

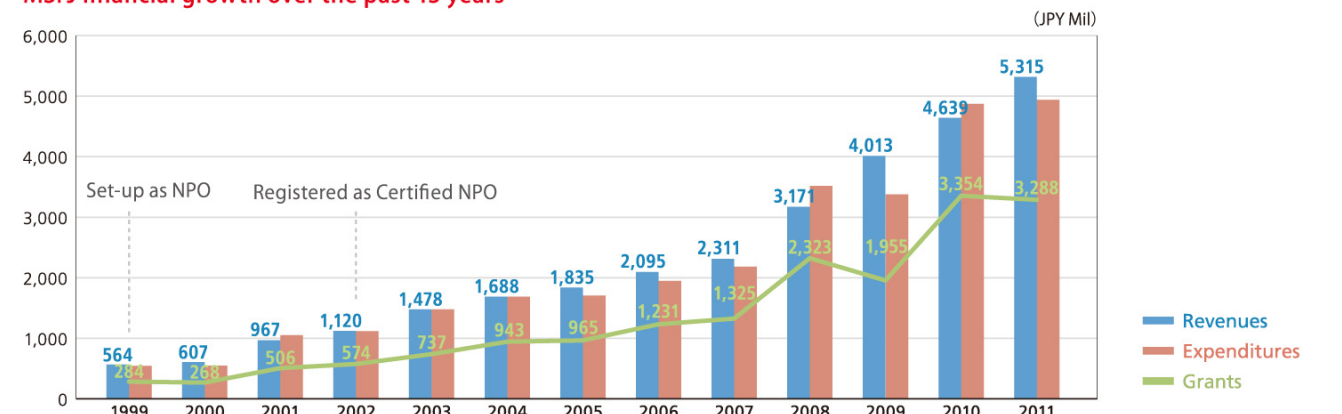
Breakdown of the grants of JPY 3.29 billion



(JPY Mil)	
MSF France	2,298
※incl. emergency	
MSF Spain	980
Innovation Fund	10

*See P.21 for further details of grant allocation by country.

MSFJ financial growth over the past 13 years



財務の概況

2011年度のMSF日本の財務活動を総括しますと、総収益は、53億1577万円で、前期比で14.6%増加しました。一方、総費用は49億3984万円で、前期比で6785万円(1.4%)増加しました。総費用のうちソーシャル・ミッション費は36億9918万円(74.9%)で、人道援助プログラム支援金が32億8827万円、国内外におけるプログラム・サポートが、東日本大震災緊急援助活動への支援を含め、1億4454万円、広報活動費が2億6636万円でした。また、募金活動費は10億3243万円、マネジメントおよび一般管理費は2億823万円でした。当期の収支は最終的に3億7593万円の余剰となりました。詳細は、本報告書に掲載の財務諸表のとおりです。

なお、人道援助プログラム支援金は、パートナーシップ協定を結ぶ、MSFフランスとMSFスペインを経由して、コンゴ民主共和国(4億3470万円)、ハイチ(2億8480万円)、ジンバブエ(2億8060万円)、ケニア(2億7460万円)、日本(2億790万円)を含む計20ヵ国で運営されている各人道援助プログラムに配分させていただきました。

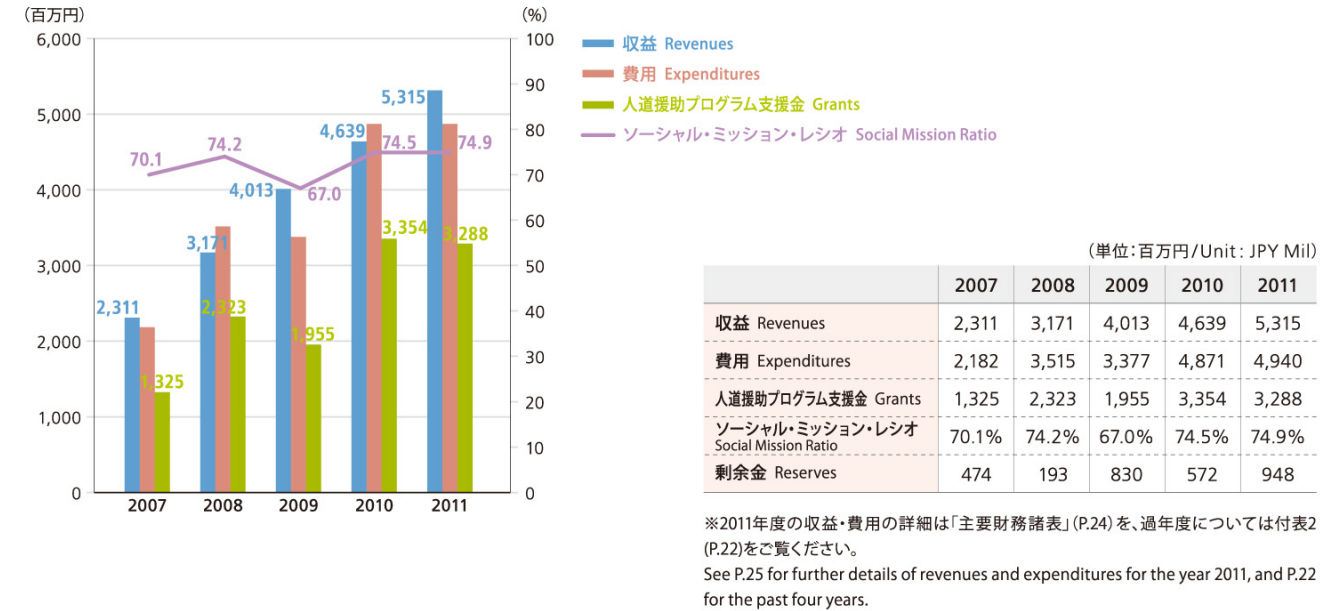
Financial Overview of 2011

The total revenues of 2011 increased by 14.6% to JPY 5.32 billion. The total expenditures increased by 1.4% to JPY 4.94 billion. JPY3.7 billion (74.9%) were allocated to Social Mission, consisting of grants, temoignage activities and program support including support to the East Japan mission team by MSFJ. JPY 1.03 billion (20.9%) was allocated to fundraising. JPY 208 million (4.2%) was allocated to management and administrative activities. As a result of that, we posted a net surplus of JPY 376 million for this fiscal year. See the financial statements for further details.

The grants were sent through 2 operational centers, MSF France and MSF Spain, to provide funds to operational programs, based on partnership agreements. Grants were used for activities in 20 countries, including Democratic Republic of the Congo (JPY 435 million), Haiti (JPY 285 million), Zimbabwe (JPY 281 million), Kenya (JPY 275 million), Japan (JPY 208 million) and Colombia (JPY 192 million).

収益、費用、支援金、ソーシャル・ミッション・レシオおよび剰余金の推移

Growth of Operating Revenues, Operating Expenditures, Grants, Social Mission Ratio and Reserves



2011年度は、プログラム支援への強化はもとより認知度向上を目的に広報・証言活動にも注力した結果、ソーシャル・ミッションが伸び同レシオは74.9%となりました。剰余金の拡充により、将来的に緊急援助への対応に向けてのフレキシビリティが増すことが期待されます。

In 2011, we reinforced not only grant contribution but also awareness raising activities. This resulted in the improvement of the social mission ratio to 74.9%. Increased reserves will make it possible for MSFJ to cope with emergencies with greater flexibility.

付表 1. MSF日本による2011年度人道援助プログラム支援金の配分先 MSFJ Grants Allocation by Country in 2011

各国のMSF事務局は資金配分協定のもと、複数のオペレーション事務局とパートナーシップを結び、一定の配分比率に基づき、プログラム支援金を配分・送金しています。MSF日本はパートナーシップ関係にある、MSFフランスおよびMSFスペインが運営する人道援助プログラムに対して資金援助をしています。MSF日本が2011年度に拠出した支援金は、以下の国々で稼働中の各プログラムに配分されました。

Each MSF office has a partnership agreement with a few specific operational centers. This is structured under the “Resource Sharing Agreement”. They allocate and transfer grants based on a fixed proportion ratio. Under the current partnership agreements, MSFJ sends grants to humanitarian programs which are managed by MSF France and MSF Spain. The following is a breakdown of how the grants provided by MSFJ were used.

(百万円 / JPY Mil)			
国 / 地域 Country / Region	2011	主要プログラム Major Programs Being Operated	オペレーション事務局 Operational Centers
アフリカ Africa			
コンゴ民主共和国 Democratic Republic of the Congo	434.7	紛争による避難民・負傷者の診療 Healthcare for people affected by conflicts	F, S
ジンバブエ Zimbabwe	280.6	感染症対策(HIV/エイズ等) Epidemic diseases (HIV/AIDS etc.)	S
ケニア Kenya	274.6	ソマリア難民への医療援助 Healthcare for refugees from Somalia	F, S
中央アフリカ共和国 Central African Republic	186.0	紛争による避難民の診療 Healthcare for the people displaced by conflicts	F, S
エチオピア Ethiopia	175.4	ソマリア難民への医療援助 Healthcare for refugees from Somalia	F
マラウイ Malawi	157.3	感染症対策(HIV/エイズ等) Epidemic disease (HIV/AIDS etc.)	F, S
ブルキナファソ Burkina Faso	97.8	小児栄養失調対策 Medical care for malnutrition of children	F
ナイジェリア Nigeria	85.0	感染症、栄養失調 Epidemic and malnutrition	F
南スーダン South Sudan	76.5	紛争による避難民・負傷者の診療 Healthcare for people affected by conflicts	S
コンゴ共和国 Republic of the Congo	38.2	コンゴ民主共和国からの難民援助 Healthcare for refugees from DRC	F
ソマリア Somalia	34.0	栄養危機への対応、避難民援助 Response to nutrition crisis and IDP assistance	F
計 Total	1,840.1		
アジア、中東 Asia, Middle East			
日本 Japan	207.9	東日本大震災緊急医療援助 East Japan Earthquake and Tsunami Emergency	F
アルメニア Armenia	131.8	感染症対策(結核) Epidemic disease (TB)	F
イエメン Yemen	130.9	紛争による避難民の基礎医療 Basic healthcare for the displaced by conflicts	F, S
カンボジア Cambodia	42.5	感染症対策(結核) Epidemic disease (TB)	S
イラク Iraq	34.0	紛争による避難民・負傷者の診療 Healthcare for people affected by conflicts	F
モンゴル Mongolia	29.8	干ばつ・雪害対策(医療インフラ)、結核対策 Medical infrastructure & TB	F
計 Total	576.9		
中南米 The Americas			
ハイチ Haiti	284.8	震災復興およびコレラ対策 Reconstruction after mega quake and cholera response	F
コロンビア Colombia	192.3	武力紛争による避難民の診療 Healthcare for people displaced by armed conflicts	F, S
計 Total	477.1		
中央アジア・コーカサス Central Asia and the Caucasus			
ロシア Russia	55.2	武力紛争による避難民の診療 Healthcare for people displaced by armed conflicts	F
計 Total	55.2		
オペレーション・サポート(プログラム横断的支援) Operation support			
	329.0		F
計 Total	329.0		
合計 Total	3,278.3		

付表 2. MSF日本の過年度の収益・費用 Operating Revenues & Expenditures for Past Years

		(単位:千円 / Unit: JPY thousand)			
主要財務項目 Major Accounts	事業年度 Accounting Year	2007	2008	2009	2010
		自2007年 1月 1日 至2007年12月31日	自2008年 1月 1日 至2008年12月31日	自2009年 1月 1日 至2009年12月31日	自2010年 1月 1日 至2010年12月31日
寄付収入	Donations	2,308,287	3,136,827	4,012,438	4,636,197
個人寄付	From private individuals	2,123,867	2,900,262	3,640,651	4,029,690
一般法人寄付	From private companies	131,150	162,493	290,704	491,754
その他団体寄付	From other organizations	53,271	74,072	81,083	114,753
その他の収入	Other Revenues	2,849	34,773	1,482	3,030
利息収入	Interest income	704	17,809	338	405
講演会による収入	Lecture fee	525	463	719	1,508
会費収入	Membership fees	294	530	424	396
物品販売	From goods sales	829	433	-	-
その他	Exchange gains etc.	497	15,538	1	721
経常収益 合計	Total Operating Revenues	2,311,136	3,171,600	4,013,920	4,639,227
①ソーシャル・ミッション費	Social Mission Expenditures	1,531,773	2,609,648	2,262,528	3,630,551
援助活動費	Program & Program Support	1,401,770	2,405,857	2,053,769	3,442,260
人道援助プログラム支援金	Grants	1,325,000	2,323,044	1,955,751	3,354,216
その他の人道援助活動支援金 (DNDI)	Other humanitarian activities (DNDI)	25,388	23,120	15,053	12,725
国内援助活動費	Domestic humanitarian activities	3,174	-	-	-
人件費	Personnel expenses	34,957	42,320	53,272	49,361
旅費交通費	Travel expenses	2,166	3,096	2,792	2,354
その他(家賃、減価償却費等)	Office rent, depreciation etc.	11,085	14,278	26,901	23,604
広報活動費	Awareness-raising / Temoignage	130,004	203,791	208,759	188,291
必須医薬品キャンペーン支援金	Campaign for Access to Essential Medicines	8,949	12,287	9,633	9,993
人件費	Personnel expenses	29,660	41,071	38,397	56,936
広告宣伝費等	Advertisement etc.	44,400	37,874	36,418	42,990
ニュースレター等費用	Newsletter etc.	20,788	46,801	79,942	38,993
業務手数料等	Commissions etc.	7,318	31,372	15,144	13,831
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	Office rent, travel & depreciation etc.	18,889	34,385	29,224	25,548
②募金活動費	Fundraising	536,052	775,207	974,702	1,084,035
人件費	Personnel expenses	47,657	44,168	66,139	57,070
ダイレクトメール、ニュースレター等費用	Direct mail & newsletter related cost	343,684	515,302	682,067	814,343
業務手数料等	Commissions etc.	61,147	116,195	141,568	135,859
搬送費・電郵費	Mailing, delivery & telecommunication	15,694	20,352	24,015	31,701
印刷費	Printing fee	9,864	14,502	13,617	20,024
広告宣伝費等	Advertisement etc.	29,497	47,470	17,756	1,330
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	Office rent, travel & depreciation etc.	28,509	17,218	29,540	23,708
③マネジメントおよび一般管理費	Management & General Admin.	114,455	130,542	139,943	157,398
MSFインターナショナルオフィス経費	MSF International Office	18,036	23,254	21,668	24,817
人件費	Personnel expenses	56,728	55,564	66,619	82,842
業務手数料等	Commissions etc.	11,070	13,407	7,183	12,104
アソシエーション関連経費	Association related expenses	6,279	8,240	8,623	9,768
減価償却費	Depreciation	5,845	6,816	7,515	4,448
旅費交通費	Travel expenses	2,627	2,531	2,150	3,524
その他(家賃等)	Office rent etc.	13,870	20,730	26,185	19,895
経常費用 合計 (①+②+③)	Total Operating Expenditures	2,182,280	3,515,398	3,377,172	4,871,984
経常外収益(寄付金)	Non-operating Revenues	-	63,668	-	-
経常外費用(租税)	Non-operating Expenses	-	-	-	24,566
一般正味財産増減額	Net Assets Increase	128,856	△ 280,130	636,748	△ 257,322
一般正味財産期末残高	Accounting Reserves	473,616	193,486	830,234	572,911

ソーシャル・ミッション・レシオ	Social Mission Ratio	70.1%	74.2%	67.0%	74.5%
-----------------	----------------------	-------	-------	-------	-------

人道援助プログラム支援金の分配実績 Performance of Grants Allocation						
MSFフランス	MSF France	2008年以降/パートナーシップ	1,000,000	1,587,000	1,315,000	2,040,000
MSFスペイン	MSF Spain	2008年以降/パートナーシップ	80,000	687,000	624,315	1,040,000
MSFスイス	MSF Switzerland		150,000	33,404	4,281	-
MSFベルギー	MSF Belgium		50,000	-	-	-
MSFオランダ	MSF Holland		45,000	-	-	-
緊急支援	Emergency Program		-	-	-	263,941
イノベーション・ファンド	Innovation Fund		-	15,640	12,155	10,275
総計 Total			1,325,000	2,323,044	1,955,751	3,354,216

独立監査人の監査報告書

平成 24 年 3 月 21 日

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
会長 黒崎 伸子 殿

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士
業 務 執 行 社 員

高橋 宏

当監査法人は、特定非営利活動法人 国境なき医師団日本の平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日までの平成 23 年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書及び財産目録について監査を行った。この財務諸表の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、特定非営利活動法人 国境なき医師団日本の平成 23 年 12 月 31 日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の正味財産増減及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

[English Translation of the Auditors' Report Originally Issued in the Japanese Language]

Independent Auditors' Report

March 21, 2012

Ms. Nobuko Kurosaki, the president
Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon:

KPMG AZSA LLC

Hiroshi Takahashi(Seal)
Designated Limited Liability and Engagement Partner
Certified Public Accountant

We have audited the financial statements, comprising the balance sheet, the statement of financial activities, the statement of cash flows and the summary of assets of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon as of and for the year ended December 31, 2011. The financial statements are the responsibility of the management of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon. Our responsibility is to express an opinion on the financial statements based on our audit as independent auditors.

We conducted our audit in accordance with auditing standards generally accepted in Japan. Those auditing standards require us to obtain reasonable assurance about whether the financial statements are free of material misstatement. An audit is performed on a test basis, and includes assessing the accounting principles used, the method of their application and estimates made by management, as well as evaluating the overall presentation of the financial statements. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

In our opinion, the financial statements referred to above present fairly, in all material respects, the financial position of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon as of December 31, 2011 and the changes in its net assets and its cash flows for year then ended in conformity with accounting principles of public interest corporation generally accepted in Japan.

Our firm and the engagement partner have no interest in Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon which should be disclosed pursuant to the provisions of the Certified Public Accountants Law of Japan.

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

正味財産増減計算書

自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日

(単位:円)

科 目	2011年度		2010年度		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比		増減比
Ⅰ. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 寄付収入	5,312,363,853	100.0%	4,636,197,636	100.0%	676,166,217	14.6%
一般個人寄付(注1)	4,663,050,892	87.8%	4,029,689,810	86.9%	633,361,082	15.7%
一般法人寄付(注1)	548,005,381	10.3%	491,754,581	10.6%	56,250,800	11.4%
その他団体寄付(注1)	101,307,580	1.9%	114,753,245	2.5%	△ 13,445,665	-11.7%
② その他の収入	3,401,924		3,030,524		371,400	12.3%
講演会による収入	1,939,568		1,508,356		431,212	28.6%
会費収入	438,000		396,000		42,000	10.6%
利息収入	216,179		404,651		△ 188,472	-46.6%
その他	808,177		721,517		86,660	12.0%
経常収益 合計	5,315,765,777		4,639,228,160		676,537,617	14.6%
(2) 経常費用						
■ソーシャル・ミッション費(①+②)	3,699,177,215	74.9%	3,630,550,357	74.5%	68,626,858	1.9%
① 援助活動費	3,432,814,521	69.5%	3,442,259,824	70.7%	△ 9,445,303	-0.3%
人道援助プログラム支援金(注2)	3,288,269,993		3,354,216,244		△ 65,946,251	-2.0%
東日本大震災プログラムへのサポート等	67,258,898		-		67,258,898	100.0%
その他の人道援助活動支援金(注3)	12,365,717		12,724,991		△ 359,274	-2.8%
人件費	42,223,317		49,361,303		△ 7,137,986	-14.5%
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	22,696,596		25,957,286		△ 3,260,690	-12.6%
② 広報活動費	266,362,694	5.4%	188,290,533	3.8%	78,072,161	41.5%
必須医薬品キャンペーン支援金	20,645,279		9,992,690		10,652,589	106.6%
人件費	76,398,431		56,935,897		19,462,534	34.2%
広告宣伝費等	79,603,393		42,990,284		36,613,109	85.2%
ニュースレター等費用	43,770,268		38,993,206		4,777,062	12.3%
業務手数料等	10,476,017		13,831,020		△ 3,355,003	-24.3%
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	35,469,306		25,547,436		9,921,870	38.8%
■募金活動費	1,032,429,419	20.9%	1,084,035,567	22.3%	△ 51,606,148	-4.8%
人件費	73,245,448		57,070,016		16,175,432	28.3%
ダイレクトメール、ニュースレター等費用	712,779,747		814,342,747		△ 101,563,000	-12.5%
業務手数料等	150,865,142		135,859,321		15,005,821	11.0%
通信および搬送費	35,954,740		31,700,668		4,254,072	13.4%
印刷費	18,736,638		20,024,646		△ 1,288,008	-6.4%
広告宣伝費	10,601,784		1,330,220		9,271,564	697.0%
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	30,245,920		23,707,949		6,537,971	27.6%
■マネジメントおよび一般管理費	208,232,199	4.2%	157,397,974	3.2%	50,834,225	32.3%
人件費	86,655,138		82,842,036		3,813,102	4.6%
MSFインターナショナルオフィス経費	46,391,549		24,816,686		21,574,863	86.9%
アソシエーション関連経費(人件費以外)	9,377,132		9,768,104		△ 390,972	-4.0%
MSF韓国事務所所活動支援金(注記17参照)	32,534,875		-		32,534,875	100.0%
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	33,273,505		39,971,148		△ 6,697,643	-16.8%
経常費用 合計	4,939,838,833	100.0%	4,871,983,898	100.0%	67,854,935	1.4%
2. 経常外増減の部						
経常外費用の部	-	-	24,566,500	-	△ 24,566,500	-
当期経常外増減額	-	-	△ 24,566,500	-	24,566,500	-
当期一般正味財産増減額	375,926,944	-	△ 257,322,238	-	633,249,182	-
一般正味財産期首残高	572,911,468	-	830,233,706	-	△ 257,322,238	-
一般正味財産期末残高	948,838,412	-	572,911,468	-	375,926,944	-
Ⅱ. 指定正味財産増減の部						
1. 収入の部:使途指定寄付金収入(注4)	104,040,493	-	406,802,332	-	△ 302,761,839	-
2. 支出の部:一般正味財産への振替額(注4)	104,040,493	-	406,802,332	-	△ 302,761,839	-
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-
Ⅲ. 次期繰越正味財産期末残高	948,838,412	-	572,911,468	-	375,926,944	65.6%

(注1) 指定正味財産増減の部(注4)からの振り替え、および現物寄付(計60,223,321円)を含む。
(注2) 当期において、MSFフランスおよびMSFスペインが運営する人道援助プログラムに対して拠出した。
(注3) DNDi (非営利団体、「顧みられない病気のための新薬イニシアティブ」)に対する活動支援金。
(注4) 使途指定寄付金は、すべて当期中にMSFフランス経由にて指定のプログラムへ割り当てている。
(注5) 上掲の計算書に記載した比率はそれぞれ、寄付収入に関しては支援者別の構成比、また、経常費用の各活動ごとの比率は、経常費用合計に対する割合。

[English Translation of the Statement of Financial Activities Originally Issued in Japanese Language]
Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon

Statement of Financial Activities

For the year ended December 31, 2011

(Unit: JPY)

Title	2011		2010		Change	
	Amount	Ratio	Amount	Ratio	Amount	Ratio
I. Non-earmarked Net Assets Changes						
1. Changes in Operating Item						
(1) Operating Revenues		(※5)		(※5)		
① Donations	5,312,363,853	100.0%	4,636,197,636	100.0%	676,166,217	14.6%
Donations from private individuals(※1)	4,663,050,892	87.8%	4,029,689,810	86.9%	633,361,082	15.7%
Donations from private companies(※1)	548,005,381	10.3%	491,754,581	10.6%	56,250,800	11.4%
Donations from other organizations(※1)	101,307,580	1.9%	114,753,245	2.5%	(13,445,665)	(11.7%)
② Other Revenues	3,401,924		3,030,524		371,400	12.3%
Lecture fee	1,939,568		1,508,356		431,212	28.6%
Membership fees	438,000		396,000		42,000	10.6%
Interest income	216,179		404,651		(188,472)	(46.6%)
Others	808,177		721,517		86,660	12.0%
Total Operating Revenues	5,315,765,777		4,639,228,160		676,537,617	14.6%
(2) Operating Expenditures		(※5)		(※5)		
■Social Mission Expenditures (①+②)	3,699,177,215	74.9%	3,630,550,357	74.5%	68,626,858	1.9%
① Program & Program Support	3,432,814,521	69.5%	3,442,259,824	70.7%	(9,445,303)	(0.3%)
Financial contribution to operational centers (Grants)(※2)	3,288,269,993		3,354,216,244		(65,946,251)	(2.0%)
Support to East Japan missions	67,258,898		-		67,258,898	100.0%
Other humanitarian activities (DNDi)(※3)	12,365,717		12,724,991		(359,274)	(2.8%)
Personnel expenses	42,223,317		49,361,303		(7,137,986)	(14.5%)
Others(Office rent, travel and depreciation etc.)	22,696,596		25,957,286		(3,260,690)	(12.6%)
② Awareness-raising / Temoignage	266,362,694	5.4%	188,290,533	3.8%	78,072,161	41.5%
Contribution to Campaign for Access to Essential Medicines	20,645,279		9,992,690		10,652,589	106.6%
Personnel expenses	76,398,431		56,935,897		19,462,534	34.2%
Advertisement etc.	79,603,393		42,990,284		36,613,109	85.2%
Newsletter etc.	43,770,268		38,993,206		4,777,062	12.3%
Commissions etc.	10,476,017		13,831,020		(3,355,003)	(24.3%)
Others(Office rent, travel and depreciation etc.)	35,469,306		25,547,436		9,921,870	38.8%
■Fundraising	1,032,429,419	20.9%	1,084,035,567	22.3%	(51,606,148)	(4.8%)
Personnel expenses	73,245,448		57,070,016		16,175,432	28.3%
Direct mail and newsletter related cost	712,779,747		814,342,747		(101,563,000)	(12.5%)
Commissions etc.	150,865,142		135,859,321		15,005,821	11.0%
Mailing, delivery and telecommunication	35,954,740		31,700,668		4,254,072	13.4%
Printing fee	18,736,638		20,024,646		(1,288,008)	(6.4%)
Advertisement	10,601,784		1,330,220		9,271,564	697.0%
Others(Office rent, travel and depreciation etc.)	30,245,920		23,707,949		6,537,971	27.6%
■Management & General Administration	208,232,199	4.2%	157,397,974	3.2%	50,834,225	32.3%
Personnel expenses	86,655,138		82,842,036		3,813,102	4.6%
Contributions to MSF International Office	46,391,549		24,816,686		21,574,863	86.9%
Association related expenses (except personnel)	9,377,132		9,768,104		(390,972)	(4.0%)
Contributions to MSF Korea office	32,534,875		-		32,534,875	100.0%
Others(Office rent, travel and depreciation etc.)	33,273,505		39,971,148		(6,697,643)	(16.8%)
Total Operating Expenditures	4,939,838,833	100.0%	4,871,983,898	100.0%	67,854,935	1.4%
2. Changes in Non-operating Item						
Non-operating expenses	-	-	24,566,500	-	(24,566,500)	-
Net increase in Non-operating item	-	-	(24,566,500)	-	24,566,500	-
Increase in Non-earmarked Net Assets	375,926,944	-	(257,322,238)	-	633,249,182	-
Non-earmarked Net Assets at Beginning of Year	572,911,468	-	830,233,706	-	(257,322,238)	-
Non-earmarked Net Assets at End of Year	948,838,412	-	572,911,468	-	375,926,944	-
II. Earmarked Net Assets Changes						
1. Revenues: Earmarked Donations(※4)	104,040,493	-	406,802,332	-	(302,761,839)	-
2. Expenditures: Transfer to Non-earmarked Net Assets Changes(※4)	104,040,493	-	406,802,332	-	(302,761,839)	-
Changes in Earmarked Net Assets	-	-	-	-	-	-
Earmarked Net Assets at Beginning of Year	-	-	-	-	-	-
Earmarked Net Assets at End of Year	-	-	-	-	-	-
III. Net Assets at End of Year to be carried forward	948,838,412	-	572,911,468	-	375,926,944	65.6%

Notes:(※1) Transfers from "Earmarked Net Assets Changes" and in-kind donations of JPY 60,223,321 are included.
(※2) Funds which were contributed to the humanitarian aid programs operated by MSF France and MSF Spain in 2011.
(※3) DNDi: Drugs for Neglected Diseases initiative
(※4) Earmarked donations for emergency were allocated to the designated programs through MSF France.
(※5) Ratios shown in the columns of Operating Revenues and Expenditures are ratios to total donations and total expenditures respectively.

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

貸借対照表

平成23年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	増 減 比
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金および預金	1,104,245,083	744,716,242	359,528,841	48.3%
未収入金(注1)	83,273,821	79,938,463	3,335,358	4.2%
貯蔵品	28,890	38,328	△ 9,438	-24.6%
その他未収入金	1,172,850	416,382	756,468	181.7%
前払費用	6,109,482	9,898,171	△ 3,788,689	-38.3%
立替金	83,119,396	49,623,132	33,496,264	67.5%
仮払金	673,052	145,865	527,187	361.4%
貸倒引当金	△ 500,000	△ 480,000	△ 20,000	-4.2%
流動資産合計	1,278,122,574	884,296,583	393,825,991	44.5%
2. 固定資産				
建物附属設備	16,647,006	25,050,438	△ 8,403,432	-33.5%
事務用什器・備品	12,718,075	12,879,788	△ 161,713	-1.3%
ソフトウェア	24,892,987	17,863,452	7,029,535	39.4%
長期差入保証金	30,649,970	29,699,970	950,000	3.2%
固定資産合計	84,908,038	85,493,648	△ 585,610	-0.7%
資産合計	1,363,030,612	969,790,231	393,240,381	40.5%
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金(注2)	398,631,712	371,644,165	26,987,547	7.3%
短期リース債務	1,087,503	13,702,795	△ 12,615,292	-92.1%
預り金等	905,885	606,900	298,985	49.3%
流動負債合計	400,625,100	385,953,860	14,671,240	3.8%
2. 固定負債				
長期リース債務	-	1,087,503	△ 1,087,503	-100.0%
退職給付引当金	13,567,100	9,837,400	3,729,700	37.9%
固定負債合計	13,567,100	10,924,903	2,642,197	24.2%
負債合計	414,192,200	396,878,763	17,313,437	4.4%
III. 正味財産の部				
一般正味財産	948,838,412	572,911,468	375,926,944	65.6%
正味財産合計	948,838,412	572,911,468	375,926,944	65.6%
負債および正味財産合計	1,363,030,612	969,790,231	393,240,381	40.5%

(注1) 外部の委託業者により支援者からの回収が済んでいる寄付金(支援者口座からの引落しは、期末日までに完了)のうち、期末現在、同委託業者から未入金のもの。
(注2) MSFフランス向けのプログラム支援金の送金未達分1億3300万円を含む。

[English Translation of the Balance Sheet Originally Issued in Japanese Language]
Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon

Balance Sheet

(As of December 31, 2011)

(Unit: JPY)

Title	2011	2010	Changes	Ratio
I. Assets				
1. Current Assets				
Cash and cash equivalents	1,104,245,083	744,716,242	359,528,841	48.3%
Accounts receivable(*1)	83,273,821	79,938,463	3,335,358	4.2%
Supplies	28,890	38,328	(9,438)	(24.6%)
Other receivable	1,172,850	416,382	756,468	181.7%
Prepaid expenses	6,109,482	9,898,171	(3,788,689)	(38.3%)
Advances	83,119,396	49,623,132	33,496,264	67.5%
Suspense payment	673,052	145,865	527,187	361.4%
Bad debt allowance	(500,000)	(480,000)	(20,000)	(4.2%)
Total Current Assets	1,278,122,574	884,296,583	393,825,991	44.5%
2. Non Current Assets				
Building structures	16,647,006	25,050,438	(8,403,432)	(33.5%)
Office equipment and fixtures	12,718,075	12,879,788	(161,713)	(1.3%)
Software	24,892,987	17,863,452	7,029,535	39.4%
Long-term deposit	30,649,970	29,699,970	950,000	3.2%
Total Non Current Assets	84,908,038	85,493,648	(585,610)	(0.7%)
Total Assets	1,363,030,612	969,790,231	393,240,381	40.5%
II. Liabilities				
1. Current Liabilities				
Accounts payable(*2)	398,631,712	371,644,165	26,987,547	7.3%
Short-term lease obligation	1,087,503	13,702,795	(12,615,292)	(92.1%)
Deposits received	905,885	606,900	298,985	49.3%
Total Current Liabilities	400,625,100	385,953,860	14,671,240	3.8%
2. Non Current Liabilities				
Long-term lease obligation	-	1,087,503	(1,087,503)	(100.0%)
Provision for retirement benefits	13,567,100	9,837,400	3,729,700	37.9%
Total Non Current Liabilities	13,567,100	10,924,903	2,642,197	24.2%
Total Liabilities	414,192,200	396,878,763	17,313,437	4.4%
III. Net Assets				
Non-earmarked Net Assets	948,838,412	572,911,468	375,926,944	65.6%
Total Net Assets	948,838,412	572,911,468	375,926,944	65.6%
Total Liabilities and Net Assets	1,363,030,612	969,790,231	393,240,381	40.5%

Notes: (*1) The balance of outstanding donations as of December 31, 2011, which were already debited from donors' bank accounts, however not yet arrived at our bank account due to the procedures of transfer by our outside agent vendor.
(*2) The grants payable of JPY 133 million to MSF France is included.

財務諸表への注記

1. 財務諸表の作成基準

国境なき医師団日本(Médecins Sans Frontières Japon、以下「MSF日本」)の財務諸表は、日本において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準(平成16年10月14日改正)に基づいて作成されている。同基準は国際財務報告基準(International Financial Reporting Standards)が求める適用要件や開示上の要件とは、いくつかの点で相違している。なお、各費用の事業活動別の分類および会計処理の表示については、MSF各事務局との間で共通して適用する「MSF International Accounting Standards」に準拠している。

2. 重要な会計方針

2-1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産
定額法によっている。(耐用年数は建物附属設備およびオフィス家具は3～5年、備品は3年)
- ②ソフトウェア
定額法によっている。(耐用年数は3年)

2-2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2-3) リース取引の処理方法

ファイナンス・リースに該当する取引はすべて「リース取引に係る会計基準」に準拠し、売買処理によってリース資産およびリース債務(短期および長期リース債務)を計上する会計処理を行っている。なお、当該資産は償却資産ならびにソフトウェアであり、5年または3年にわたり減価償却している。

2-4) 退職給付引当金

退職金規定に従い、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

3. 収益の認識

寄付収入は原則として、現金主義に基づき認識している。ただし、回収代行委託分に係る一部の未収寄付金については、支援者の口座からの引き落としが当該事業年度内に完了し、かつ委託業者からの計算書により回収額およびMSF日本への入金時期が確定している未収寄付金については、当期の収益として認識している。

現物寄付について

MSF日本は金銭以外にも、現物寄付として、ICT機器、マイレージ、切手等、および役務の提供という形で支援を受けている。これらの現物寄付については、合理的に取得価額を見積もり“寄付収入”として認識し、それらを事業供用する時点で費用計上している。ただし、合理的な金額の見積もりが困難な、プロボノによる役務の提供については、簿外処理をしている。

4. 経常費用について

費用については、すべて主要な4事業活動別に区分して表示している。なお、各事業活動に共通する間接経費については、実労働時間に基づいて算出した各事業活動別の総職員数で按分し、以下の4事業活動にそれぞれに配分している。

4-1) 援助活動費

海外での人道援助プログラム支援金

パートナーシップ関係を結ぶMSFフランスおよびMSFスペインが運営する世界の各地での人道援助プログラムに支援金を配分している。

その他の人道援助活動支援金

非営利団体「顧みられない病気のための新薬イニシアティブ(DNDi: Drugs for Neglected Diseases initiative)」に対する資金援助。2014年まで継続。

海外での人道援助プログラムに対する、日本国内でのサポート活動

MSF日本は5つのオペレーション事務局の人材ニーズに応じ、フィールドにて人道援助プログラムに従事するスタッフの採用手続き・海外派遣説明会を実施するとともに、ビザ取得等の渡航準備、および各種の渡航前国内トレーニングを実施した後海外現地に派遣している。

4-2) 広報活動費

MSF日本は主要なミッションの一つとして、世界各地での医療・人道援助活動の現場での最新情報を、出版物、ウェブサイト、展示会ならびに各メディアを通して、既存の支援者および一般社会等に対して周知活動を行っている。

必須医薬品キャンペーン(Campaign for Access to Essential Medicines)への資金援助

同キャンペーンは、MSFが1999年以来世界規模で展開しているもので、さまざまな感染症で苦しむ人びとに安価で効果的な治療薬を提供できるよう、各国政府、国際機関、製薬会社に対して働き掛けを行っている。MSF日本も他の事務局とともに応分の資金援助をしており、取りまとめはMSFインターナショナルが行っている。

4-3) 募金活動費

MSF日本は、援助活動にあてる十分な資金を確保するため、さらなる支援者を募ることを目的として、夏冬のダイレクトメールおよびニュースレターによる募金キャンペーン等を行っている。

4-4) マネジメントおよび一般管理費

マネジメント経費、および人事・財務・経理・総務・ICT等の管理部門の間接経費である。ほかにMSFインターナショナルの経費負担分を含む。この機関はネットワークで結ばれたMSF全19事務局およびその他の関連組織との間の調整業務を担い、その運営費については、全19事務局が応分の負担をしている。

5. 基本財産および特定財産の増減額、その残高および財源等の内訳

指定正味財産・一般財産として受け入れた資産のうち、基本財産および特定資産として区分・運用しているものはない。

6. 担保に供している資産

該当事項はない。

7. 固定資産の取得価額・減価償却累計額および当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	42,017,155	25,370,149	16,647,006
什器	14,098,958	9,372,322	4,726,636
器具・備品	27,496,428	19,962,487	7,533,941
ビデオ機器	2,761,750	2,304,252	457,498
ソフトウェア	42,677,847	17,784,860	24,892,987
償却資産 計	129,052,138	74,794,070	54,258,068
リース資産(ドナー情報管理システム)	59,382,251	59,382,251	-
総 計	188,434,389	134,176,321	54,258,068

8. 債権および債務の当期末残高

債権の額および貸倒引当金の当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債 権 額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収寄付金(株式会社ジャックス)	83,273,821	500,000	82,773,821
その他未収金(源泉税年末調整分戻り)	1,172,850	-	1,172,850
合 計	84,446,671	500,000	83,946,671

9. 未払金の当期末残高

未払金の主要なものは、以下のとおりである。

(単位:円)

相 手 先	金 額	相手先	金 額
MSFフランス	133,095,591	朝日広告社	38,095,134
JPメディアダイレクト	116,797,980	その他	110,643,007
		合 計	398,631,712

10. 保証債務等の偶発債務

該当事項はない。

11. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価額

該当事項はない。

12. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

該当事項はない。

13. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

14. 重要な後発事象

該当事項はない。

15. 2011年度、MSFオペレーション事務局等に対する支援金等の配分実績(一部は按分値)

(単位:円)

	個人からの寄付	法人等からの寄付	合 計	備 考
プログラム支援金の配分先	2,878,333,963	399,950,733	3,278,284,696	個人・法人等の区分は 按分計算による
MSFフランス	2,017,893,963	280,390,733	2,298,284,696	
MSFスペイン	860,440,000	119,560,000	980,000,000	
MSFインターナショナル(イノベーション・ファンドとして)			9,985,297	
支援金合計			3,288,269,993	

上記のうち、当期中に緊急援助活動関連プログラムへ配分されたもの(いずれもMSFフランス経由)

東日本大震災緊急援助活動	207,913,370
ソマリア人道危機援助活動	21,284,696

16. 東日本大震災での緊急医療援助活動に関連する資金の移動

東日本大震災緊急援助活動はMSFフランスの管理する予算に基づき運営された。東北地方の被災現地でのチームの活動資金は、MSF日本が一旦立て替え、MSFフランスに請求した。同資金は、MSF日本からMSFフランスに拠出する2011年度のプログラム支援金の未払い分との相殺により、当期中に全額回収済みである。

17. その他

- MSF日本は、MSFインターナショナル公認の開発案件として、韓国事務所開設の準備を進めてきた。その資金として、当期において3200万円を拠出した。
- 当期においては、前期同様、収益事業は行っていない。

Notes to Financial Statements

1. Basis for preparing the Financial Statements

The financial statements of Médecins Sans Frontières Japon (hereinafter "MSFJ") have been prepared in accordance with the accounting principles of public interest corporation generally accepted in Japan (revised in October 14, 2004), which are different in certain respects in terms of application and disclosure requirements from International Financial Reporting Standards (IFRS). Detailed methods of description of the result of accounting, such as classification of expenses by activity, are compliant with MSF International Accounting Standards, which are applicable for all of MSF entities.

2. Summary of Significant Accounting and Reporting Policies

2-1) Depreciation of Fixed Assets

Depreciation is calculated on a straight-line method over the expected useful lives of the assets.

Category of Fixed Assets	Period	Category of Fixed Assets	Period
Building structures	3-5 years	Equipment (IT, Video, Audio)	3 years
Office furniture	3-5 years	Software	3 years

2-2) Computation of Consumption Tax

All amounts stated are inclusive of national consumption tax and local consumption tax.

2-3) Leased Assets

Financing leases are accounted for in accordance with "the Accounting Standards for Leased Assets" and MSFJ recognizes the leased assets with lease obligations (short-term and long-term lease obligations) on the balance sheet. The depreciation periods of the leased assets are 5 years for building structures and 3 years for software.

2-4) Provisions for Retirement Benefits

In compliance with the End of Employment Payment Plan, MSFJ records provisions for retirement benefits, which are calculated to state the liability accrued on the balance sheet date, based on the projected benefit obligation. Retirement obligation is computed based on the liability which would be required if all staff were to retire voluntarily on the balance sheet date.

3. Recognition of Revenues

Donations are basically recognized on a cash basis, with exceptional cases where the donations will be collected by the outsourced vendors, which are recognized as receivables, subject to the fact that collection of donations from the individual donors' bank accounts have been finished before balance sheet date, and confirmation of amounts and payment date in writing. With regard to in-kind donations which MSFJ usually receives in the form of free provision of office equipment etc., we recognize revenues upon receipt based on available market price and also post the expenses when being used for humanitarian activities. However, for the contributions of services provided on pro-bono basis such as consulting services or similar services, we have not presented them in our financial statements due to inability to evaluate their price.

4. Operating Expenditures

Expenditures are classified into four types of activities by nature as presented below. Expenses are allocated to each type. The overhead expenses are allocated to every activity based on headcount allocation key calculated based on the actual working hours employed in one full year (FTE: Full Time Equivalent).

4-1) Program & program support

i) Direct financial support to the field (Grants)

This is related to the grants to be sent to each operational program located in the countries through Operational Centers according to finance agreement signed under the current "Resource Sharing Agreement".

ii) Other humanitarian activities

Financial support to DNDi (Drugs for Neglected Diseases initiative) until 2014.

iii) Program support implemented by MSFJ office

Program support includes costs related to all expenses incurred in order to recruit field staff for program operations, required training sessions as well as preparation for departures to the field outside of Japan.

4-2) Awareness-raising activities

This includes all expenses incurred in connection with MSFJ's advocacy activities. Information is provided about our current activities at each program site. This information is disseminated via publications, our website, exhibitions and other media.

Financial support to Campaign for Access to Essential Medicines

The Campaign has been implemented by MSF since 1999 worldwide. Its mission is to address governments, international organizations and pharmaceutical companies in order to provide people suffering from infectious diseases with affordable and effective medicine. MSFJ is providing funds along with other MSF sections under the coordination of the MSF International.

4-3) Fundraising activities

MSFJ implements fundraising activities to assure sufficient funding for our operations. For this purpose, MSFJ launches several fundraising campaigns such as direct mailing and newsletter mailings.

4-4) Management and administrative expenses

This includes expenses incurred for executive management as well as the overhead expenses for the administration of the MSFJ office, including human resources, finance and ICT. Financial contribution shared by 19 offices for the operating expenses of MSF International is also included. MSF International provides the 19 MSF offices with coordination services.

5. The changes, balances and breakdown of the endowment and the special funds

MSFJ has no such assets classified and invested in the endowment and/or special funds, among the funds which were accepted as earmarked and non-earmarked net assets.

6. Assets pledged as collateral

N/A

7. Acquisition costs, accumulated depreciations and the carrying amounts of fixed assets at the end of current year

(Unit: JPY)			
Title	Acquisition costs	Accumulated depreciation	Carrying amounts at the end of current year
Building structures	42,017,155	25,370,149	16,647,006
Furniture	14,098,958	9,372,322	4,726,636
Equipment and Fixtures	27,496,428	19,962,487	7,533,941
Video equipment	2,761,750	2,304,252	457,498
Software	42,677,847	17,784,860	24,892,987
Fixed assets without finance lease Total	129,052,138	74,794,070	54,258,068
Leased assets (Donor management system)	59,382,251	59,382,251	-
Grand Total	188,434,389	134,176,321	54,258,068

8. The amount of receivables, the balance of allowance for bad debts and receivables at the end of current year

(Unit: JPY)			
Title	Amount	Bad debts allowance at the end of current year	Receivable at the end of current year
Account receivables of collected donations	83,273,821	500,000	82,773,821
Other receivables	1,172,850	-	1,172,850
Total	84,446,671	500,000	83,946,671

9. Payables to the major customers and vendors at the end of current year

(Unit: JPY)			
Customers / Vendors	Amount	Customers / Vendors	Amount
MSF France	133,095,591	Asahi Advertising Inc.	38,095,134
JP Media Direct	116,797,980	Others	110,643,007
		Total	398,631,712

10. Contingent liabilities

N/A

11. The description of the book/fair value, and evaluation gains/losses from securities on held-to-maturity

N/A

12. The description of and the fluctuation of the subvention received for the current period

N/A

13. The description about the transactions with the related parties

N/A

14. Significant subsequent events

N/A

15. Allocation of grants etc. to MSF operational centers etc. in 2011

(Unit: JPY)				
	Donations from individuals	Donations from companies etc.	Total	Remarks
Recipients of grants	2,878,333,963	399,950,733	3,278,284,696	
MSF France	2,017,893,963	280,390,733	2,298,284,696	Pro rata calculation
MSF Spain	860,440,000	119,560,000	980,000,000	
MSF International (As innovation funds)			9,985,297	
Total Grants			3,288,269,993	

Grants allocated to emergency programs in 2011

East Japan Earthquake and Tsunami	207,913,370
Humanitarian crisis in Somalia	21,284,696

16. Funds transfer for the emergency mission for East Japan Earthquake and Tsunami

The emergency mission for East Japan was managed based on a budget prepared by MSF France. The funds required for the program developed in Tohoku were financed by MSFJ and re-invoiced to MSF France. All of these funds were reimbursed to MSFJ by MSF France in 2011 as a part of reduction of grants payable.

17. Others

- MSFJ has prepared the opening of an office in the Republic of Korea, as a formally recognized development endorsed by the MSF movement. MSFJ contributed JPY 32 million in 2011.
- Profit making business was not implemented in 2011 following to the previous year.

東日本大震災緊急援助活動の総括

MSFは震災直後の3月11日午後、緊急援助活動の開始を決定しました。翌12日には、医師、看護師、ロジスティシャンからなる日本人スタッフ6名の調査チームがヘリで宮城県に入り、被災地での緊急医療ニーズの調査に着手。その後、ほかの事務局からの応援スタッフも現地に合流しました。

第1フェーズ（2011年3月～6月）
緊急医療援助

宮城県南三陸町、気仙沼市内および大島、岩手県宮古市田老地区の避難所で被災者に対する緊急医療援助として移動診療を開始し、高血圧症などの診療、薬の提供を行い、診療件数はのべ4844件となりました。6月末には医療活動を地方自治体等に引き継ぎ、長期ベースでの診療を託しました。

一方、被災者の間で広くみられたストレス障害に対応するため、日本臨床心理士会と協力し、4月初旬より心理ケアの提供も開始しました。のべ1267人に対しカウンセリングを行い、6月末をもって地域の社会福祉協議会等へ引き継ぎを行いました。

第2フェーズ（2011年7月～12月）
地域医療インフラ復興支援

津波の被害を受けた宮古市の田老診療所では、のべ2590人に対する医療提供のサポートにあたりました。6月下旬には新たに仮設・田老診療所の建設に着手し、12月に完成の運びとなりました。同時に同仮設診療所に対し、各種の医療機器を寄贈しました。自治体による診療所の本格的再建がなされるまでの約5年間、約4000人の住民の医療を支えるものと期待されています。

被災で交通が寸断されて援助の届いていなかった孤立地域で診療活動を行い、地域の基礎医療施設の復興に向けての支援にも取り組むなど、緊急医療援助団体としてのMSFの経験と能力を最大限に発揮することに努めた活動でした。

収入概要 Summary of funding		(百万円 / JPY Mil)
MSF日本からの支援金	Grants contributed by MSF Japan	208
その他のMSF事務局	From other MSF offices	51
MSF日本によるサポート	MSFJ support	67
合計 Total		325

主な費用項目 Major expenses		(百万円 / JPY Mil)
仮設住宅およびクリニック建設費	Construction fee of clinic and shelter	100
田老仮設診療所向け医療機器提供	Medical equipment	54
緊急援助物資の配布（右記参照）	Relief supplies (see right table)	40
輸送費・交通費	Emergency transportation etc.	27
緊急用医薬品の寄贈	Medicines for emergency	8
心理ケア	Psychological care related cost	6
その他の現地活動費	Other running cost for field activity	22
MSF日本によるサポート	MSFJ support	67
合計 Total		325

Summary of Activities:
the East Japan Earthquake and Tsunami

MSF decided to respond to the disaster in the afternoon of March 11, 2011. An emergency team consisting of doctors, nurses and logisticians landed in Miyagi Pref. the next day. Staff reinforcement joined shortly after from other MSF entities.

First phase from March to June 2011
Emergency Medical Assistance

MSF teams started to provide emergency medical support to people in the evacuation centers in Miyagi and Iwate. The total number of patients was 4,844 as of the end of June 2011. MSF handed over the medical aid programs to the municipal governments at the end of June 2011. MSF also provided psychological care in cooperation with Japan Clinical Psychologist Association to more than 1,267 patients who were suffering from posttraumatic stress. This activity was also handed over to the regional Social Welfare Committee at the end of June 2011.

Second phase from July to December 2011
Support to reconstruction of a local medical infrastructure
MSF aided the heavily damaged Taro Clinic in Miyako in order for it to provide medical care for 2,590 patients. MSF started to construct a temporary Taro Clinic in late June 2011 and this was completed in December. With the donation of medical equipment, it is expected that this clinic will provide medical care to the surrounding inhabitants during the next five years. By which time a full-scaled permanent clinic will be reconstructed by the municipal government.

Making use of our unique expertise and know-how, we are able to provide medical care to patients in isolated places, support the reconstruction of damaged medical facilities and to ensure that the basic medical care of patients in the affected areas is addressed.

主要な緊急援助物資 Major relief supplies distributed	
毛布	Blanket 4030枚 (sets)
衛生用品キット	Hygiene kit 10000セット (sets)
通院用中古バス	Used buses 2台 (units)
飲料水	Drinking water 6500リットル (liters)
生活用品キット	Daily Life kit 4000セット (sets)
貯水槽	Water tank 2カ所 (units)
発電機	Generators 1台 (units)
上記のほか、現物寄付として	As in-kind donation
現地活動用車両	SUV for the field activities 15台 (units)

MSFワールドワイド

2010年の
活動概況と財務



ハイチ

2010年1月の大地震による甚大な被害に加え、10月からコレラの流行が全国に広がる。MSFは年間8000人以上のスタッフを動員し、史上最大の活動を展開した。



首都ポルトープランスにMSFが設置したコレラ治療センターの1つで、治療を受ける子ども。
© Ricardo García Villanova

※ P.34, 35, 37は、MSF全支部の活動を網羅した『MSF ACTIVITY REPORT 2010』（英語版）の抜粋です。
2011年の実績は2012年7月に発表の予定です。

2010年、MSFは60の国と地域で活動しました

2010年、国境なき医師団（MSF）は、60の国と地域で医療・人道援助プログラムを実施しました。多様なニーズに対応すべく、MSFは毎年数多くのプログラムを開始あるいは終了、また、1つの国で複数のプログラムを実施することもあります。活動地では常に状況の変化を観察し、可能な場合には現地保健当局やほかのNGOなどにプログラムの引き継ぎを行っています。

- 活動規模が大きい10の国・地域
- その他のMSFの活動国・地域



© Julie Rémy

ハイチ
大地震被災地で負傷者の治療など緊急援助を展開



© David Di Lorenzo / MSF

ニジェール
食糧危機が深刻化した北部で約15万人に栄養治療

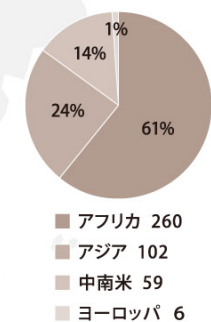


MSFの活動概況（2010年実績） ※小数点以下は四捨五入

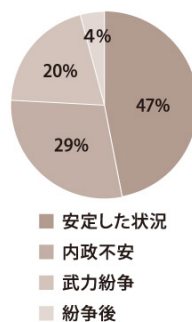
活動規模が大きい10の国（プログラム支出額順）

1. ハイチ
2. コンゴ民主共和国
3. スーダン
4. ニジェール
5. パキスタン
6. ソマリア
7. チャド
8. ジンバブエ
9. ナイジェリア
10. 中央アフリカ共和国

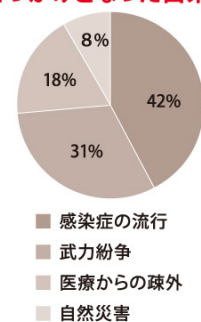
大陸別プログラム数



活動地の情勢



援助開始のきっかけとなった出来事



MSFのネットワーク（2012年3月現在）

MSFは世界25カ国に事務局をもつ国際的な組織です。本部は存在せず、それぞれの事務局が憲章に基づき、独立して活動を行いながら、緩やかなネットワークで結ばれています。

オペレーション事務局

プログラムの運営を担当し、医療チームを編成・派遣する。パートナー事務局の機能も併設している。

オランダ	スイス	スペイン	フランス	ベルギー
アイルランド イタリア スウェーデン ノルウェー	アメリカ合衆国 オーストラリア チェコ ブラジル	アラブ首長国連邦 オーストリア デンマーク 香港	アルゼンチン カナダ ドイツ 南アフリカ共和国	イギリス ギリシャ 日本 ルクセンブルク

パートナー事務局

活動に参加するスタッフを募集・派遣するほか、広報活動、募金活動を行う。

MSFインターナショナル

事務局間の調整を行う機関。（スイス）

付属組織

ロジスティックセンター（フランス、ベルギーほか）
物資の購入、管理、輸送を担当し、効率的な援助活動のための物資調達を支える。

エビセンター（フランス）
疫学研究組織。MSFの活動地で得られた医学的情報の分析や調査研究報告などを行う。

MSF結合ベースの活動実績について

国境なき医師団(以下MSF)の5つのオペレーション事務局は、2010年度、60の国と地域で人道援助プログラムを運営しました。個々のプログラムは、MSF日本を含めた19事務局の財政的および人的支援によって支えられています。

こうしたMSFの1年間のグローバルな活動の結果としての財政状態および経営成績は、スイスにあるMSFインターナショナル事務局により、国際財務報告基準に準じた結合ベースの年次財務報告書としてまとめられ、監査法人であるKPMGおよびErnst & Youngの共同監査を受けた後に公表されています。

この結合ベースの年次財務報告書は、各活動地のプログラム毎の個別の決算数値を取りまとめ、19事務局間の決算書の結合から、会計監査に至るまでの手続きに時間を要するため、翌事業年度においてMSF日本のウェブサイトにて紹介しています。ここでは、2010年度の結合決算書から抜粋し、組み替えを行った「財務活動計算書」(いわゆる損益計算書)を掲載します。

2010年度 結合ベースMSF「財務活動計算書」(要約)

	2010 (千ユーロ)	2009 (千ユーロ)	増 減 (千ユーロ)	2010 円換算額(注3) (百万円)
I. 経常収益				
1)個人支援者からの寄付収入(MSF日本等19事務局の寄付収入を含む)	691,984	491,591	200,393	80,436
・一般個人	635,599	435,324	200,275	73,882
・遺贈	56,253	56,155	98	6,539
・会費収入	132	112	20	15
2)民間機関からの寄付収入(MSF日本等19事務局の寄付収入を含む)	166,915	80,858	86,057	19,402
・一般法人	65,087	24,558	40,529	7,566
・信託・財団等	55,252	30,681	24,571	6,422
・その他法人	46,576	25,619	20,957	5,414
1)～2) 計	858,899	572,449	286,450	99,838
3)公的機関からの収入(注2)	69,343	77,858	△ 8,515	8,060
4)その他収入	15,063	15,088	△ 25	1,751
・利息収入および余資運用益	5,300	6,633	△ 1,333	616
・設備売却および役務提供による収益	4,317	3,019	1,298	502
・物品販売その他	5,446	5,436	10	633
経常収益 合計	943,305	665,395	277,910	109,650
II. 経常費用				
1)ソーシャル・ミッション	666,063	490,502	175,561	77,423
■ 援助活動費				
・人道援助プログラム支援費(MSF日本等25事務局からの支援金を含む)	555,265	393,336	161,929	64,544
・各支部によるプログラム・サポート費	78,758	69,048	9,710	9,155
・その他の人道援助活動費	5,689	6,413	△ 724	661
援助活動費 計	639,712	468,797	170,915	74,360
■ 広報活動費	26,351	21,705	4,646	3,063
2)募金活動費	103,698	87,289	16,409	12,054
3)マネジメントおよび一般管理費	43,119	38,855	4,264	5,012
4)所得税	-	137	△ 137	-
2)～4) 計	146,817	126,281	20,536	17,066
経常費用 合計	812,880	616,783	196,234	94,489
為替差損	2,097	2,909	△ 812	244
差引当期正味財産増減	132,522	51,521	81,001	15,404

(注1) 上掲の計算書は日本で監査を受けたものではない。

(注2) 公的機関には、欧州委員会人道支援事務局(ECHO)、ベルギー、カナダ、デンマーク、アイルランド、ルクセンブルク、ドイツ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイスの各国政府等が含まれる。

(注3) 1ユーロ=116.24円で換算。

支出内訳 (活動地におけるプログラムおよび調整チームの支出)



活動地域

国／地域	百万ユーロ	(百万円) ^{※※}	国／地域	百万ユーロ	(百万円) ^{※※}	国／地域	百万ユーロ	(百万円) ^{※※}
アフリカ			アジア/ 中東			中南米		
コンゴ民主共和国	54.5	(6,335)	パキスタン	21.8	(2,534)	ハイチ	102.3	(11,891)
スーダン	38.9	(4,522)	ミャンマー	11.2	(1,302)	コロンビア	9.7	(1,128)
ニジェール	25.5	(2,964)	インド	10.4	(1,209)	グアテマラ	1.0	(116)
ソマリア	19.5	(2,267)	イラク	9.1	(1,058)	ボリビア	1.0	(116)
チャド	19.0	(2,209)	イエメン	7.6	(883)	その他 [※]	2.6	(302)
ジンバブエ	18.4	(2,139)	アフガニスタン	5.8	(674)	合計	116.6	(13,554)
ナイジェリア	17.5	(2,034)	パレスチナ	4.6	(535)			
中央アフリカ共和国	16.8	(1,953)	スリランカ	4.5	(523)	ヨーロッパ		
ケニア	15.1	(1,755)	バングラデシュ	3.7	(430)	ロシア連邦	5.5	(639)
マラウイ	15.1	(1,755)	キルギス	3.5	(407)	その他 [※]	2.3	(267)
エチオピア	13.4	(1,558)	ウズベキスタン	3.2	(372)	合計	7.8	(907)
ウガンダ	8.6	(1,000)	イラン	2.5	(291)			
モザンビーク	7.6	(883)	アルメニア	1.8	(209)	オセアニア		
マリ	6.2	(721)	グルジア	1.6	(186)	バブアニューギニア	2.7	(314)
ブルンジ	6.0	(697)	カンボジア	1.3	(151)	その他 [※]	0	(0)
コンゴ共和国	5.5	(639)	タイ	1.2	(139)	合計	2.7	(314)
南アフリカ共和国	5.2	(604)	その他 [※]	4.4	(511)			
ギニア	5.2	(604)	合計	98.2	(11,415)			
スワジランド	5.2	(604)						
シエラレオネ	4.7	(546)						
リベリア	4.1	(477)						
ブルキナファソ	3.0	(349)						
ザンビア	2.4	(279)						
ジブチ	1.8	(209)						
カメルーン	1.6	(186)						
その他 [※]	2.2	(256)						
合計	322.7	(37,511)						

※「その他」は、プログラム支出が百万ユーロ(約1億1624万円)以下の国をまとめている。
※※ 1ユーロ=116.24円換算(金額の十万円以下は四捨五入)

スタッフ派遣実績

	2010		2009	
スタッフ派遣回数(年間)	6,561	100%	4,744	100%
医師	1,672	25%	1,239	26%
看護師・その他医療従事者	2,002	31%	1,459	31%
非医療従事者	2,887	44%	2,046	43%
現地ポスト数	27,650	100%	22,462	100%
現地スタッフ	25,185	91%	20,447	91%
外国人派遣スタッフ	2,465	9%	2,015	9%

皆様のご支援、ありがとうございました

2011年、国境なき医師団(MSF)日本は、19万626人の個人、1万140の企業・団体の皆様よりご支援をいただき、世界各国でのMSFの医療・人道援助活動に資金を提供することができました。苦境におかれた人びとに私たちが援助を届けることを可能にくださった皆様のご厚意に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

MSFコーポレートサポータープログラム

株式会社シグマ
銀座ステファニー化粧品株式会社

プロボノ

日本ヒューレット・パッカード株式会社
デルタ航空スカイマイル
株式会社ケイツー
モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所
マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン
株式会社セールスフォース・ドットコム
GMOペイメントゲートウェイ株式会社
加賀電子株式会社
コストコホールセールジャパン株式会社
株式会社ナナオ
社団法人 全国乗用自動車連合会
本田技研工業株式会社
日本マイクロソフト株式会社
エムシードウコー株式会社
日産自動車株式会社
大洋薬品大阪販売株式会社
グーグル株式会社

緊急支援

ニフティ株式会社
ゴールドマン・サックス証券株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社ぶんか社
日興アセットマネジメント株式会社
一般財団法人日本スピリチュアリズム協会
一般財団法人 mudef

財団・ファンド等

郵便事業株式会社
公益財団法人 大阪コミュニティ財団
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団
ピースフル・コンサート越谷 実行委員会
株式会社帝国ホテル
パナソニック電工 労働組合 ヒュニオン社会貢献クラブ
豊島岡女子学園中学校・高等学校

マッチングギフトなど

新日本管財株式会社 互助会
ブルーチップ株式会社
株式会社証券保管振替機構
株式会社大和証券グループ本社
大和証券株式会社
株式会社リーガルコーポレーション
積水ハウス株式会社
アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
株式会社メディカルイメージラボ
リンベル株式会社
株式会社エポスカード
ステラケミファ株式会社
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
楽天カード株式会社
森永乳業株式会社
株式会社ジェーシービー
BEYOND THE BORDER PROJECT 事務局
エムスリー株式会社
ヤフー株式会社
株式会社ジャックス
ユナイテッドビーブル株式会社
株式会社日産フィナンシャルサービス
株式会社CHINTAI
株式会社 MATOI PUBLISHING
丸中製菓株式会社
株式会社相澤産業
株式会社こむらさき
株式会社悠香
菱徳実業 株式会社
株式会社 メセナドットコム
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
ピー・シー・エー株式会社
アイ・ティー・シーネットワーク株式会社

理 事

Board Members

会長 President	黒崎 伸子 Nobuko Kurosaki MD
副会長 Vice President	青池 望 Nozomi Aoike MD
副会長 Vice President	ナヨン・キム Nayeon Kim MD
専務理事 Secretary General	沢田 さやか Sayaka Sawada
会計役 Treasurer	キン・ランド Kean Rand
	フレデリック・ヴァラ Frederic Vallat
	リチャード・スィーベル Richard Sebel
	ジル・デルマス Gilles Delmas
	ステファン・ロク Stéphane Roques

監 事

Controller

上柳 敏郎
Toshiro Ueyanagi

事務局長

General Director

エリック・ウアネス
Eric Ouannes

(2012年3月末現在)

20th

国境なき医師団 日本 20周年

MSF日本は2012年に
設立から20周年を迎えます。

国境なき医師団日本について

国境なき医師団(MSF)日本は1992年に設立され、1997年にMSFの事務局の1つとして独立組織となりました。1999年に特定非営利活動法人(NPO法人)として東京都の認証を受け、2002年より認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)として国税庁の認定を受けています。

活動をご支援ください

国境なき医師団の活動は、皆様からの寄付で実現しています。私たちとともに、命を救う力となってください。

寄付の申し込み
資料請求は

0120-999-199
(通話料無料 9:00～19:00 無休)
www.msf.or.jp



国境なき医師団日本は「認定NPO法人」として国税庁の認定を受けています。国境なき医師団日本への寄付は、所得税、法人税などの優遇措置の対象となります。